



ながしま 議会だより

Nagashima town Assembly News

№.44 9月定例会 〈H28.9.12～9.26〉

秋の実りに感謝する
干ばつや大雨・台風の影響が懸念された
が、大きな被害もなく実りの秋を迎えた

- 定例会で決まったこと ②
- 町政を問う（一般質問） ⑥
- 常任委員会の審査報告 ⑫
- 住民投票条例案を否決 ⑭

3億2,359万1千円追加 総額105億5,950万9千円



↑町道行人岳線入口付近を視察する建設経済文教常任委員会

平成28年第3回長島町議会定例会は、9月12日から26日までの15日間の会期で開かれた。平成27年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足について報告され、平成28年度の一般会計補正予算（3億2,359万1千円追加、総額105億5,950万9千円）や特別会計の補正予算、スクールバスや給水車購入の契約など議案10件を可決した。

このほか、バイオマス発電プラント建設の早期実現に係る要望書を採択。平成27年度長島町決算の認定について特別委員会を設置し、継続審査とした。

また、「長島町立中学校（本島4校）を長島高校跡地に集約することの賛否を問う住民投票条例の制定について」は賛成少数で否決した。

平成28年度の一般会計予算に

平成28年度の一般会計予算のほか、国民健康保険診療施設、介護保険、農業集落排水の3特別会計補正予算を原案可決した。
今回、計上された予算の主なものは次のとおり。

主な事業

関西ながしま会郷土芸能派遣委託料	2,309 千円
夢追いふるさと長島景観寄付（ふるさと納税）に係る経費	2,586 千円
バイオマスエネルギー利用促進事業	3,000 千円
自治公民館等チャレンジ提案事業補助金	12,000 千円
鷹巣診療所代診医師に要する経費	17,321 千円
幣串地区トイレ改修工事費	1,000 千円
川床ふれあいの郷トイレ改修工事費	17,776 千円
だんだん市場駐車場改修工事測量設計費	1,575 千円
長島ぐるっとフラワーロード沿線ガードケーブル設置費	20,400 千円
合併処理浄化槽設置補助金	17,842 千円
鷹巣農業集落排水施設の非常用発電機修繕費	2,841 千円
畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業 （マルイ農協鶏舎施設整備）	105,168 千円
獅子島林道維持管理費	15,979 千円
町単独災害復旧費	11,550 千円
獅子島港（立石地区）浮棧橋測量設計費	20,000 千円
総合運動公園整備事業（町民体育館改修工事費）	11,655 千円



↑ 昨年の関東ながしま会で披露された鷹巣種子島鐘踊り



↑ ガードレールからガードケーブルへ（山門野地区）



↑ 獅子島地区の林道

契約

スクールバスの購入

川床小学校と統合する田尻小学校のスクールバスを購入するため、1296万円です。自動車九州株式会社南九州支社と締結することを議決した。



↑現在、諸浦地区の児童生徒が利用するスクールバス

契約

給水車の購入

現在、町所有の給水車は老朽化が著しい。熊本震災を教訓にして、今後の災害時に備え、機能性や作業効率が高い給水車を購入するため、960万5509円です。自動車九州株式会社川内支店と締結することを議決した。



↑老朽化が著しい給水車

条例

税条例の一部を改める

外国居住者等の所得に対する相互主義による所得税等の非課税に関する法律が改正されたことに伴い、長島町税条例の一部を改正した。

契約

長島港（口之福浦地区）浮棧橋の整備

社会資本整備総合交付金工事 長島港（口之福浦地区）を6237万円です。株式会社と契約締結することを議決した。

報告

健全化判断比率と資金不足比率の報告

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の定めるところにより、長島町における平成27年度決算に基づく健全化判断比率と資金不足比率が報告された。

認定

長島町決算の認定

平成27年度長島町決算が議会の認定に付されたので、決算特別委員会を設置し、継続審査とした。

条例

公営住宅条例の一部を改める

老朽化した矢嶽団地1棟2戸を解体するため、長島町公営住宅条例の一部を改正する条例の一部を改正した。



↑解体が決定した矢嶽団地

報告

太陽光発電特別会計の継続費精算

平成26年度から着工された長島夢追い元気発電所が平成27年度に建設完了したため、地方自治法施行令第145条第2項の規定により継続費の精算（建設費総額7億1280万円）について報告された。



↑順調に発電中の長島夢追い元気発電所

陳情

国民健康保険税条例の一部を改める

外国居住者等の所得に対する相互主義による所得税等の非課税に関する法律が改正されたことに伴い、長島町国民健康保険税条例の一部を改正した。

バイオマス発電プラント建設の早期実現を

下山門野地区の4集落会長から提出された「バイオマス発電プラント建設の早期実現に係る要望書」については、悪臭対策の観点からも、早期建設・早期稼動により地域住民の切実な願いを叶えるべきとの趣旨から採択した。

一般質問

施策を問う

川上 勇 議員



巡回バス運行の見直しを問う

川上議員 本町の高齢化率は、平成27年度末33・9パーセントと進み、巡回バス利用者から「停留所まで歩くのが辛くなってきた。何とかならないか。」と切実な訴えがある。

① 町内巡回バス利用者は平成23年度で2万9千3百人、3年後は6千3百人減少してい

る。

原因調査をして向上対策を行う考えは。

② バス乗降場所を停留所へ限定後、利用者が減少した話がある。

随時、停留所の見直しはできないか。

③ 城川内集落の飯尾医院から町道米山線宇都經由に路線変更できないか。

町長 ① 人口減少等があるとと思われるが平成24年度に運行路線等の

見直しを行ったので、しばらく様子を観察したい。

② バス利用者の要望があれば随時停留所等の見直しを行う。

③ 現地調査を行い、南国バスにも相談している。

長生園を指定管理できないか

川上議員 本年度の長生園管理費の町持出し6千4百万円の予算となっている。町長は議会で「安い経費で高いサービスを提供するため指定管理を推進したい」と答弁している。

近隣市でも老人ホームを民間に経営移譲して公費持出し「0円」の模範的施設がある。「福祉が充実した、住民一人ひとりを大切に」する長島づくりの政策目標を実践するため、長生園を優先して

民営化すべきではないか。

町長 県内でも、公営の老人ホームは民間に無償譲渡される方向にある。

指定管理を想定した場合、人件費、財政面及びサービス等複雑な問題も予想されるので、長生園のあり方を調査研究したい。

大型宿泊施設整備を問う

川上議員 町議会に対し、民設民営による新しい大型宿泊施設建設計画の報告があった。

計画の概要は、宿泊定員数は1000人程度。場所は長島町文化ホール下の広場。平成30年3月に開業予定との説明。

① ホテル経営者の経営と実績について伺う。又、宿泊料1万5千円は高く、利用者が限定されないか。

② 建設の執行計画と経営不振となった場合の対応は

町長 ① 経営については、応募された会社が直接経営するのではなく、別会社に委託して管理運営を行う。利用者が限定されることについては、町内の民宿等と競合させないためである。

② 建設計画は平成29年8月頃の予定。また経営不振の際は契約・協定等に明記されると考えている。

サンセット長島の活用策は

川上議員 当該施設は、建築後約40年経過しているが、耐震診断の結果、一部の補修程度でまだ利用可能との結果であった。今後、利用者のニーズにあつた個室に改善し、活用する考えは。

町長 大型宿泊施設の建替えについては、平成23年の町有施設のあり方検討委員会の答申に基づき事業を進めている。

サンセット長島は解体し、跡地についてはイベント広場や駐車場等多目的広場を検討している。



↑ 指定管理が検討されている長生園

浦 弘成 議員



福祉の拠点・保健福祉センターの維持管理は

浦議員 ①センターの利用状況、維持管理は。②現状に見合ったセンターの改修（補修）が必要と思われるが計画は。③災害避難所に指定されているが、体制対応は。

町長 ①センターは社会福祉協議会が指定管理者である。利用状況は、生きがいのでサービスや介護保険の通所介護サービスとして多くの高齢者が利用

されている。また保健センター機能として乳幼児健診や親子教育などにも利用されている。

②平成7年度に建設され、21年経過している。全体的に老朽化が進んでいることから、今年度改修計画をして、来年度必要限度の整備をしていきたい。

③安心安全を確保するため、支援助物資や発電機など必要な機材を整備する。

川床・田尻小学校の統合再編後の施設の改良計画は

浦議員 ①統合による学級編成・教育指導法は。

②校名、校歌などは存続か廃止か新たに制定するのか。また、その時期は。

町長 平成29年4月の統合再編に向けて統合準備委員会を設置し、協議を進めている。

教育長 ①1年生から6年生までの全学年が単式学級で合計6学級となる。

専科教員など配置を求め、統合による支援加配教員を活用した個に応じた学習指導がなされる。

②校名、校歌は現在の川床小学校のものを引き継ぐ予定である。

学校管理と敷地内の歴史ある樹木伐採理由は

浦議員 ①川床小学校

の桜の全木を根本から伐採したが、枯れ葉の掃除が不要になったとの理由だけなのか。今後の緑陰読書や情操教育は出来るとの考えか。

②鷹巣小学校の樹木も伐採したが、他の小中学校の全木も伐採するのか。

③校区民の意見は聞いて



↑伐採前（毎年、春には満開の桜が咲き誇っていた）

たのか。

④今後、植樹などの対応は。

⑤小中学校のトイレの現状と改良計画は。

教育長 ①フェンスが老朽化していたため、児童の安全を第一に考え、フェンスを取り替え、樹木を伐採した。

②全小中学校の樹木を伐採する訳ではない。児童生徒の安全を第一に考えていく。

③保護者に説明した後、川床4公連の会長と協議した上で承諾を



↑伐採後（フェンスも取り替えられた）

得た。事業終了後、関係の14集落の公民館長に周知した。

④ツワブキやアジサイなど植栽する。

⑤ほとんど和式であり、順次、洋式化への検討を進める。

町長 ④今回の件を反省する意味でも、校庭全体が良いレイアウトになるように植樹計画をし、達成できるように早急に進める。

東分遣所の建設計画は

浦議員 消防分遣所の建設場所の決定時期と建設時期・期間は。

町長 鷹巣役場前駐車場の一角に整備する計画である。現在、施設の配置図や地質調査などを進めている。建設時期は、平成30年度に供用開始できるように進めている。

林 義明 議員



役場の分庁方式から本所・支所方式への見直しは

林議員 平成28年度の施政方針で庁舎のあり方について、本所・支所方式への見直しを図り、これに併せて役場の組織機構の再検討も同時並行に進める方針が示された。本所・支所方式に早急に見直すべきと思われるが、考えを伺う。

町長 現段階では町、市が新規に大学を設置することは難しい。しかし、今後、大学設置について、県への働きかけは必要であると考え。また、既存の大学が農林水産業の実習等を目的に大学の一部を移転、新設するようなことがあれば積極的に誘致に向けて取り組みたいと考えている。

林議員 別府市に設置されている、立命館アジア太平洋大学は開学から15年が過ぎ、学生は世界80ヶ国、国内120校から約6000人が学び、半数が留学生である。

別府市に大学を誘致されたA氏の話で、九州に農林水産業の国際大学が設置されることは、大変有意義である。特に出水地区が条件的にも適地といわれているが、出水地区に

今後については、検討委員会からの答申、その内容を十分に尊重し、本所・支所方式への移行を進めていく考えである。

黒之瀬戸自然公園整備は

林議員 瀬戸港線は、町道で住民の生活道路として利用されているが、万葉歌碑の法面が崩落し、平成28年度か

ら改良されているが、黒之瀬戸自然公園を含めて整備の考えは。

町長 黒之瀬戸自然公園の万葉歌碑については、観光施設としては不十分である。今後、この万葉歌碑をどのように観光資源として活用するか、駐車場、休憩施設、渦潮活用なども含めて、地元の見解を聞き、協議した上で判断する。

だんだん市場の整備は

林議員 だんだん市場は、お客の増加対策として、町内で獲れる魚の展示、子供向けの釣堀、魚の調理、加工実習ができる施設整備及び渦潮の発生する時期等を記したパンフレット作成はできないか伺う。

町長 今後の整備計画については、物産館の改修、特に町が開催するイベントに駐車場が不足していることから、既存の駐車場の改修と、新しい駐車場の整備も併せて行い、交流人口の増加と町民の所得向上が図られるような整備を進める。

だんだん市場の改修、駐車場整備の資料製作を含めて、平成29年度中には補助事業の決定があるのでは。



↑黒之瀬戸自然公園からの眺めは絶景

小田 勝志 議員



農繁期に人手を融通する体制整備は

小田議員 長島町は、戦後一貫して人口減少が続いている。日本創生会議では将来に消滅する可能性がある「消滅可能性都市」の考えが示され、全国の約半分の自治体が該当し、本町も含まれる。

業・漁業の後継者不足、就業者の減少、高齢化の進行で労働力不足が深刻な問題である。機械化が進んだとはいえ、手作業等の作業が数多くあり、収穫期、農繁期の労働力確保が今後一番の課題である。

- (2) 取組内容の検討
 - (3) ハローワーク等への求人募集
 - (4) 農繁期の異なる他産地と労働力や機械等を融通
 - (5) 必要な技術や知識を身につけられるように人材育成
 - (6) ロボット技術等、様々な支援がある。
- その中に労働負担を軽減する機械「アシストスーツ」があるが、導入する考えはないか伺う。
- 町長** ①本町では専業農家が357戸で、法人経営10経営体で殆ど家族経営である。家族労働力による管理作業が主であるが、農業従事者の高齢化が進み、農繁期の労働力不足は深刻な問題である。
- 当事業の導入については、組織による労働力不足の解消策も視野に入れ、他の解決策も模索しながら関係者から十分に意見を聞く。農繁期の労働力集中時に、研修も兼ねて、



↑アシストスーツにより重労働の軽減を図れないか

農業大学、農学部のある生、地方創生の方等も含めて、研修も兼ねて活用できないか連携を図りながら検討していく。

②以前質問された時も労働負担を軽減する開発をしてもらいたいと答弁した記憶がある。みかん、バレイシヨ農家等、収穫時にアシストスーツを装着することで負担が軽減されるのであれば、早速内部で検討してみたい。

山村留学の孫戻し制度の導入は

小田議員 昨年度鹿児島県へ移住された方は前年度より98人多い604人であり、世帯数人数共に最多であった。長島版総合戦略の中にも、様々な取り組みがあり、今後長島に永住化を目指す方も増えると思う。

①山村留学制度の中の孫戻し制度を取り入れ、将来の人口増、定住化の考えはないか伺う。

②孫戻し制度と併用してぶり奨学金を活用すれば、将来の人口減少しでも歯止めがかかるのではないかと。町長 ①県内の小規模の学校が導入し、ある一定の成果を上げている。導入するには転入学してくる児童生徒の教育に責任を持つためにも、受け入れ先の学校や地域住民と協議を重ね最善の制度設計を行った上で慎重に実施する必要が。導入可能か町内の学校の現状も踏まえ、研究を進めたい。

②ぶり奨学金制度は既にスタートしている。今後は、様々な事例に対応するため、運用等についての制度見直しを重ねていく。

林 誠治 議員



長島とくとくプレミアム商品券発行事業の成果は

林議員 昨年実施したプレミアム付きの商品券は、1万2千5百セットが瞬く間に完売した。町民の家計負担軽減、町内での消費購買力アップなど様々な効果があり、町の経済活性化の起爆剤になったのでは。

町長 商品券は町内の商工会加盟店149店舗で利用。食料品店、雑貨店、ガソリンスタンド、飲食店など幅広く利用された。

町長 町経済への波及額はこれまでのイベント中最高の2億4千3百万円と試算。消費者が地元商店へ目を向けた一方、地元商店は消費者目線の品揃えを工夫するなど相乗効果が生まれた。

平成28年度以降のプレミアム商品券発行はできないか

林議員 造形展を上回る経済効果があったと聞くが、1年限りでは町内店舗での消費は定着しない。

町商工会では今後も

規模を縮小し、事業所・小売店がそれぞれ一部負担をしてプレミアム商品券を継続出来ないか模索している。

廃業に追い込まれていく商店も見えるため、平成28年度以降のプレミアム商品券発行の考えはないか伺う。

町長 昨年は、国による地方創生の地域活性化・地域住民等緊急支援交付金を活用できた。町単独でのプレミアム商品券発行については、商工会員独自のプレミアム商品の開発やポイントカードの発

行、冠婚葬祭の返礼品など新生活運動等に繋がる企画等を創出した場合には、今後、町も支援していきたい。

長島版地方創生総合戦略の進展状況は

林議員 昨年8月、48項目に及ぶ長島町の地方創生戦略が5年間の目標で策定されている。ぶり奨学金制度、キッチンカーの運行、長島大陸市場食堂などは効果が見えるが、今後、井上副町長の派遣

期限等の影響はないか。全て5年で実現可能なのか。

町長 本町における長島版地方創生総合戦略の推進は、全国でも珍しい地方創生担当の副町長を置き、検証会議を開催して5年間で具

体化するため全庁を挙げて取り組んでいる。農業、水産業を生かした戦略を基本に、井上副町長の派遣期限も考慮し、人脈や活動実績を生かして推進している。

また、地域おこし協力隊など外部の人材活用を積極的に進めた戦略を展開していく。

長島おもちゃ美術館の開設構想は

林議員 長島版地方創生総合戦略の一つである「長島おもちゃ美術館構想」は、本町において実現可能な

のか。可能な場合、場所や運営形態はどうするのか。東京おもちゃ美術館は学校の廃校を利用している。本町では眺めがよく、空き部屋もあるマンダリンセンターをおもちゃ美術館として活用する考えはないか。

町長 おもちゃ美術館開設の実現に向けては、今後、場所や運営、維持管理、指導体制など研究課題も多い。

当面、おもちゃ遊具を購入し、試験的に町内を移動して利用状況を見る。

最終的にはマンダリンセンターも含め固定の場所で開設したい。



↑プレミアム商品券抽選会



↑保健センターでおもちゃと興じる親子ふれあいサロン

古田 一博 議員



① 中学校までの給食費を無料化にできないか

古田議員 鹿児島県では給食費の無料化はこの地域にもない状況である。全国においては、まち・ひと・しごと創生総合戦略の中で保護者負担を全額支援しているところもある。

国は子育て支援に対する動きもあり、町として保護者の為に中学生までの給食費を無料化する考えがないか伺う。

町長 給食費の無料化は子ども子育て支援対



↑おいしそうに給食を食べる生徒

策として、又、地方創生事業として、一つの大きな事業ではないかと考えている。平成27年度決算や今後の財政状況等を検討した結果、財源のめどが立つことから、平成29年度から新規事業として取り組む。

② 保育園園舎建て替えの件

古田議員 保育環境の面で、指江保育園園舎建て替えが早急に実現できないか。昨年4月から、子ども子育て支援制度が始まり、市町村が実施主体となり、地域に適した制度の推進等に対する実施責任を伴う。

長島の未来を担う子どもたちへの先行投資という意味合いからも、必要な施設整備である。

指江保育園は、今年4月1日に県から「認定子ども園」の認可申請が受理されている。そこで園舎建て替えの要望に対し、早急な対応が求められると思うが、計画について伺う。
町長 指江保育園は、国が推進している「幼保連携型認定子ども園」にいち早く移行さ

れ、今年4月1日から、「幼保連携型認定子ども園さすえ」として新たな運営に取り組んでいる。

指江保育園の園舎建て替えについては、待機児童の解消等を目的として、国が強力に推進をしており、厚生労働省関係を見ると、項目の一番目に保育所等の整備推進が掲げられている。

指江保育園については、今回の国の補正予算を受け、平成28年度の補正予算として早ければ12月議会上程する。

③ 交通安全対策の見直しは

古田議員 薄井地内の県道、町道の交差点付近の事故防止対策ができないか。

議会と町民との意見交換会の中で、地元住

民の方々から見通しが大変悪く、現場付近は緩やかなカーブで危険を伴うとの意見があった。

薄井中央線の道路工事が終わってから見直すとのことであったが、工事も終わりを、安全対策としての考えを伺う。

町長 この案件については、以前から薄井公民館からもロードミラーの設置や通行対策の要望があった箇所である。

現在、ミラーの表面がでこぼこしており、見にくい状況である。今後の対策として、直径1メートルのロードミラーと交換し、道路管理者と協議してよりよい場所への設置変更を早急に図る。また、路面の減速表示及び看板、並びに道路法線については、再度、北薩地域振興局へ要望する。

2つの委員会での議案等審査

2つの常任委員会で議案等を審査
各常任委員会の主な審議内容を紹介

総務民生常任委員会 委員長 林 義明

▼町民福祉課関係

問 臨時福祉給付金の返納金は、対象者が減少したからか。

答 対象者の減少ではない。対象者でも申請を辞退したり、予算を多く計上したため返納が生じた。

▼保健衛生課関係

問 ごみステーションの設置予定場所と補助率は。

答 設置場所は山中集落が2基と指江集落が1基で計3基。補助率は36万円を限度額とした9割補助、32万4千円となる。

▼企画財政課関係

問 自治公民館チャレンジ提案事業の補助額一、二〇〇万円の内容は。

答 各自治公民館へ要望調査を行ったところ、平成28年度は22公民館から一、一四九万九千円の要望があり、それ以外の要望も見込み一、二〇〇万円の増額補正を行った。内容については、公民館の改修事業や備品購入である。

▼総務課関係

問 関東及び関西なごしま会への郷土芸能団体の派遣は、今後も実施するのか。

答 5周年、10周年といった記念事業の一環であり、毎年は考えていない。今回は、主催者である関西なごしま会から要請を受けて派遣するものである。

▼税務課関係

問 租税条約について、居住地における課税は。

答 給与収入が130万円以上の方は課税される。但し、中国からの来日者だけは条約上の「研修生」としての免除申請をすれば上限はなく、非課税となる。町内では長島ファーム、トリーカルの研修生が対象となる。

▼平成28年度長島町国民健康保険診療施設特別会計補正予算

問 9月から2人体制で診察しているが、10月以降の勤務体制は。

答 代診医師を週に2日程度当たらせる。在宅医療をするためにも、10月以降も2人体制を考えている。

▼「長島町立中学校(本島4校)」を長島高校跡地に集約することの賛否を問う住民投票条例の制定について

この条例については、他の委員会と連合して審査することが効果的であり、徹底することから、建設経済文教常任委員会に連合審査を申し入れ審査した。

議論となった主な点は、
一、町民アンケートの是非について
一、議員が町民の理解

を得るための活動について

一、住民投票条例について

議案採決に先立ち、委員の意見は、

一、議会として、中学校2校案は学校統廃合調査特別委員会14回の協議結果である。
一、賛成者の行動を尊重すれば、反対者も行

動され收拾がつかない。

一、住民投票すれば、旧両町間が分裂するのでは。

等の意見が出され、住民投票条例案は馴染まないことから、原案反対の意見があり、否決すべきものと決定した。



↑園庭の土砂入替を計画 (伊唐保育園)

▼景観推進課関係

問 だんだん市場の新しい駐車場にバスが駐車すれば、乗客が国道を横断するとき危険では。

答 駐車場の利用効果と安全性を確保されるよう協議し、改修計画を進める。

▼長島ぐるっとフラ

問 長島ぐるっとフラワールードガードケール設置は、あと何年かかるか。又、取り替えたガードレールを獅子島の林道に設置できないか。

答 県の補助次第であるが、通常ベースであると6年程となる。

ガードレールは県と協議の結果、敷設替の2分の1を使用できる。

▼水道課関係

問 合併浄化槽設置者の負担額は。又、普及率、同額補助はいつま

でか。

答 負担額は5人槽で8万5千円。普及率は82%で、同額補助は平成29年度までとなる。

▼教育総務課関係

問 田尻小学校再編に伴うスクールバス運行計画は。

答 小中学生33名が対象者となる。

朝は、小中学校同時1便。下校時は小学校低学年の便と小学校高学年及び中学校の部活をしない便、中学校の部活をする便の3回となる。

▼社会教育課関係

問 総合町民体育館改修の事業費と完成予定は。

答 2億7千万円の事業費を見込んでおり、平成29年度完成を目指している。

▼農林課関係

問 海水を利用した抵抗性ジャガイモ種苗生産事業の規模、方法は。

答 面積は5平方メートル程度。水産種苗センターのボーリング海水を使用し、実験を行う。

▼耕地課関係

問 町単独災害復旧事業の件数は。

答 農地が18件、水路等が27件である。

▼建設課関係

問 橋りよう維持補修の場所は。

答 館ノ前橋、女淵橋、千竈橋、馬込橋、赤崎橋の5橋である。

▼平成28年度長島町農業集落排水特別会計補正予算

問 鷹巣農業集落排水の発電機は、新規購入

した場合の価格は。又、修繕して何年使用可能か。

答 新規購入の場合は1千2百万円程度。平成2年に使用開始しており、修繕しながら対応したい。

又、老朽化した部品は交換しながら長寿命化を図る。

▼陳情

「バイオマス発電プラント建設の早期実現に係る要望書」について 悪臭対策は地域の切実な問題である。

本町においても、今回の定例議会に「バイオマスエネルギー利用促進事業」の予算を計上し、実施されようとしており採択すべきものと決定した。

▼委員会所見

○だんだん市場駐車場改修は、利用者の国道横断等安全第一で執行

されたい。

○川床ふれあいの郷改修後は、ブーゲンビリ

アハウス等関係施設の利用拡大が図られるよう一体的な検討されたい。



↑新駐車場（写真右）からだんだん市場への国道横断には安全性が不可欠

住民投票条例案を否決

長島町議会は、平成28年第3回定例会において、長島町立中学校（本島4校）を長島高校跡地に集約することの賛否を問う住民投票条例の制定について、賛成1、反対10の賛成少数で否決した。

長島町議会は、平等など教育環境整備について住民投票で結論を出すのは適当ではない。」との意見を添えている。

結果については、

9月15日の本会議において、8人の請求代表者のうち2人が意見陳述を行った。その後、総務民生常任委員会に付託され、両常任委員会での連合審査となった。9月23日の連合審査会においても残り6人のうち3人の意見陳述が行われた。

12ページの総務民生常任委員会委員長報告のとおりとなった。そのことを受け、9月26日の最終本会議において、否決した。

町長は、「議会などの意向も踏まえ、2校案を推進している。学校の統合再編

編集後記

地方紙報道の中で、地方議会の政務活動費の使途が問題になっている。

政務活動費は地方議員に調査・研究の経費として、議員報酬とは別に支給され、白紙領収書の使用、数字を書き加える単純な手口など、次々と不正が発覚し、議員の質が問われています。

長島町議会には政務活動費はありませんが、私たちは町議会議員として、これからも町民の方々の要望に対し、責任ある行動で開かれた議会を目指します。（古田）

【発行責任者】

議長 長 兎島 薩男

【編集】

議会広報特別委員会

委員長 林 誠治

副委員長 古田 一博

委員 林 義明

石橋 東

川上 勇

